

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	材料力学Ⅱ	
科目基礎情報						
科目番号	0085		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械システム工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	PEL 材料力学、PEL 編集委員会監修、実教出版					
担当教員	松尾 忠利					
到達目標						
①様々なはりに対して、たわみの式を求めることができる。 ②不静定はり等の複雑なはりの問題を解くことができる。 ③組合せ応力の問題を解くことができる。 ④ひずみエネルギーやカスティリアーノの定理を用いて問題を解くことができる。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
様々なはりに対して、たわみの式を求めることができる	様々なはりに対して、たわみの式を求めることができる		教科書を見ながらはりの問題を解くことができる		様々なはりに対して、たわみの式を求めることができない	
不静定はり等の複雑なはりの問題を解くことができる	不静定はり等の複雑なはりの問題を解くことができる		教科書を見ながら不静定はり等の問題を解くことができる		不静定はりの問題を解くことができない	
組合せ応力の問題を解くことができる	組合せ応力の問題を解くことができる		教科書を見ながら組合せ応力の問題を解くことができる		組合せ応力の問題を解くことができない	
ひずみエネルギーやカスティリアーノの定理を用いて問題を解くことができる	ひずみエネルギーやカスティリアーノの定理を用いて問題を解くことができる		教科書を見ながらひずみエネルギーの問題を解くことができる		ひずみエネルギーやカスティリアーノの定理を用いて問題を解くことができない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (B)						
教育方法等						
概要	片持ちはりや両端支持はり等の基本的な問題の解法を通して、工業技術者として必須のはりの理論を中心に学習する。					
授業の進め方・方法	中間試験は、授業時間中に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として評価し、60点以上を合格とする。					
注意点	機械の構造設計の根幹をなす基礎学問であることを念頭に置き、基本的な演習問題をできるだけ多く解くことにより、問題解決能力を身につけて欲しい。 課題のプリントにより自学自習を確認する。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	はりのたわみ	はりのたわみ曲線		
		2週	はりのたわみ	はりのたわみの微分方程式による解法		
		3週	はりのたわみ	はりのたわみの微分方程式による解法		
		4週	はりのたわみ	はりのたわみの微分方程式による解法		
		5週	複雑なはりの問題	不静定はりの解法		
		6週	複雑なはりの問題	連続はりとの組合せはり		
		7週	前期中間試験			
		8週	応力状態とひずみ	三次元応力状態		
	2ndQ	9週	応力状態とひずみ	平面応力とひずみ		
		10週	組合せ応力	傾斜面の応力		
		11週	組合せ応力	曲げ、ねじり、軸力を受ける軸		
		12週	ひずみエネルギー	引張・圧縮によるひずみエネルギー		
		13週	ひずみエネルギー	曲げ、ねじりによるひずみエネルギー		
		14週	エネルギー原理とその応用	カスティリアーノの定理		
		15週	座屈	安定・不安定 オイラーの座屈荷重		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	力学	荷重が作用した時の材料の変形を説明できる。	4	
				応力とひずみを説明できる。	4	
				フックの法則を理解し、弾性係数を説明できる。	4	
				許容応力と安全率を説明できる。	4	
				両端固定棒や組合せ棒などの不静定問題について、応力を計算できる。	4	
				線膨張係数の意味を理解し、熱応力を計算できる。	4	
				引張荷重や圧縮荷重が作用する棒の応力や変形を計算できる。	4	
				ねじりを受ける丸棒のせん断ひずみとせん断応力を計算できる。	4	

			丸棒および中空丸棒について、断面二次極モーメントと極断面係数を計算できる。	4	
			軸のねじり剛性の意味を理解し、軸のねじれ角を計算できる。	4	
			はりの定義や種類、はりに加わる荷重の種類を説明できる。	4	
			はりに作用する力のつりあい、せん断力および曲げモーメントを計算できる。	4	
			各種の荷重が作用するはりのせん断力線図と曲げモーメント線図を作成できる。	4	
			曲げモーメントによって生じる曲げ応力およびその分布を計算できる。	4	
			各種断面の図心、断面二次モーメントおよび断面係数を理解し、曲げの問題に適用できる。	4	
			各種のはりについて、たわみ角とたわみを計算できる。	4	
			多軸応力の意味を説明できる。	4	
			二軸応力について、任意の斜面上に作用する応力、主応力と主せん断応力をモールの応力円を用いて計算できる。	4	
			部材が引張や圧縮を受ける場合のひずみエネルギーを計算できる。	4	
			部材が曲げやねじりを受ける場合のひずみエネルギーを計算できる。	4	
			カスティリアノの定理を理解し、不静定はりの問題などに適用できる。	4	

評価割合

	試験	小テスト等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0